

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ばんそうS&S あわっ子らんど		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 24日 ～ 令和7年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 24日 ～ 令和7年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事や外出先に工夫を凝らしている。	子どもたちが季節を体感できるように五感を意識した行事内容や子どもたちが主体的に取り組める外出先の選択を行っている。	安全面に配慮しながら地域資源を積極的に活用していきたい。
2	保護者ニーズ(利用日や送迎時間の変更など)に小まめに対応していきたいと努力している。	生活上で起こりうる保護者の困り感に対応し、支援していきたい。	職員体制をより充実させて事業所の利便性を高めていきたい。
3	関係機関との連携を大切にし、相互理解・情報共有に努めている。	各支援学校の担任教諭との面談を依頼し、利用児に対し共通認識を持って支援の充実を目指している。	相談支援事業所等を通し、更に地域連携を深めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同性介護ができていない。	同性介護を原則としているが、男性職員がいないため行えていない。	有償のボランティアを募集する等継続した求人活動を行っていく。
2	地域との関係性が薄い。	防災・防犯の観点も踏まえ、地域住民や関係機関との関係性を深めたいと考えているが接点が少ない。	外出時の公共施設(地域の図書館、福祉会館等)の利用や開催する行事などで工夫を凝らし、開かれた事業運営を図りたい。
3	外部研修や出張への参加調整が困難である。	事業所の規模が小さいため、不在時の代替専門職員の確保が難しい。現状は法人内の他事業所から派遣してもらい対応している。	引き続き法人内の他事業所への協力要請や求人活動を継続していく。